169号
Oct.
2026年

1ドルPRESS

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。雨の続く夏を乗り越え、秋も深まってきた今日この頃。
多くの演奏会が開催される“芸術の秋”を、当ホールでも楽しんでいただけると幸いです。
この１ドル PRESS は、当館のホールオルガニスト・インターン生とホールスタッフが、より多くの方にオルガンへ興味を持っていただきたいという想いで発信しています。ご覧いただけますと幸いです。



本日の出演者 原田真侑さんへインタビュー

■本日は、原田さんの恩師や、さらにその師にあたる方の作品を演奏なさるそうですね。今回の選曲に至った経緯や、作品の聴きどころを教えてください。

〈クリスタルの宮殿〉は留学中に初めて弾いたルブラン先生の曲で、先生の作品の中で最も好きな曲でもあります。イメージを一言で表すなら“poétique（詩的）”。一瞬にして夢の世界に誘われる、不思議な魅力があります。ルブラン先生の恩師であったリテーズの作品にも、留学中に先生を通して出会いました。この〈来たれ、創造主なる聖霊よ〉によるトッカータはいつか取り組んでみたいと思っていた曲で、今回初めて挑戦します。激しくもとても音楽的で、リテーズらしさを感じさせます。カヴァイエ＝コルのスタイルをもつ横浜みなとみらいホールのオルガン“ルーシー”が存分に魅力を惹き出してくれる作品だと思い、選曲しました。



2024年8月31日、ルブラン先生が教会オルガニストを務めているパリ市内の教会Saint-Antoine-des-Quinze-Vingtsにて演奏した際、先生と一緒に！
（オルガンは1894年カヴァイエ＝コル製）

■横浜みなとみらいホールでの演奏は初めてとのことですが、オルガン“ルーシー”やホールの印象はいかがですか。

学生時代から何度も足を運んだホールで、みなとみらい駅から続く長いエスカレーターに乗りながら増していくワクワク感は今も変わりません！“ルーシー”は輝かしい響きだけでなく演奏台もカヴァイエ＝コルのようで、フランスを思い出します。

■ご来場のお客様へひと言メッセージをお願いいたします。

フランスのさまざまな時代に生み出された作品を、彩り豊かにお届けいたします！
あまり馴染みのない曲が多いかもしれませんが、多彩な響きをお楽しみいただけましたら幸いです。

～オルガン公演のご案内～

長年フランスで研鑽を積み、フランス・オルガン音楽の普及に尽力してきた早島万紀子が、神聖でありながら色彩豊かな魅力あふれるフランス・オルガン音楽、メシアンの世界をお届けします。

第 13 回オルガン・１アワーコンサート　出演：早島万紀子
メシアン　音楽の薔薇窓 ～フランスの色彩をめぐって～
11 月 25 日（水）14:00 開演（13:20 開場） **大ホール**

チケット：全席指定　　一般：1,000 円



■お問合せ■ 横浜みなとみらいホールチケットセンター　045-682-2000
電話 10:00～17:00　（休館日・保守点検日を除く）

ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム第 22 期生

斎藤茉奈（さいとう ま な）が学ぶ！ホールのオルガン公演を支えるお仕事

第 1 回
舞台スタッフ

ホールオルガニスト・インターンシップ生の斎藤が、オルガン公演を支えてくださっているスタッフの皆様へインタビューし、どのような方がどんな風にオルガンに携わっているのかを全 4 回で学んでいきます。
第 1 回目は、舞台スタッフの品田さんへインタビューをしました！

Q. 横浜みなとみらいホールでのお仕事は何年されていますか？

A. 28 年です。ホールの開館時からいるので今いるスタッフの中で一番長く働いています。

Q. 舞台スタッフにはどんな役割がありますか？

A. 舞台スタッフの仕事は、「音響」「照明」「舞台」の 3 つに分かれています。



にこにこ笑顔で優しい雰囲気の品田さん。インタビュー中も気さくに、たくさんお話ししてくださいました。

Q. 品田さんの役割は何ですか？

A. 現在は「舞台」を担当しています。以前は「照明」をしていました。「舞台」の担当になってもう 17 年目です。

Q. オルガン公演でのお仕事の流れを教えてください。

A.

事前の準備は…

照明 1 ドル・1 アワーコンサートでは、事前にオルガニストへ照明のイメージや色の希望を聞き、使用する照明の色を準備します。

舞台 リハーサルや当日の公演が滞りなく行われるように、タイムスケジュールを組みます。「プレトーク」の時は、事前に原稿を読んで始める時間を調整しています。また、舞台上に「オルガン迫（せり）」と呼ばれる段を設置します。1 ドルコンサートの際には、3 歳未満のお子様も鑑賞できるようにホワイエに大きなモニターを設置します。

リハーサル＆公演中は…

音響 プレトークで使用するマイクや、演奏を記録する録音機材の調整を行います。特にオルガンは、ストップ（音色）の組み合わせによって強弱の振れ幅がとても大きいので、音が割れないようにとても気を遣います。当日朝のリハーサル時に確認をしますが、本番中もトラブルが起きないように機材の前で見守っています。

照明 ステージや客席の照明を操作します。オルガニストの入退場時には「道」と呼んでいる照明を出演者に当てたり、演奏中にはオルガンを照らす色を曲ごとに変えたりしています。

舞台 定刻通りに開演するために、リハーサルが予定時間内に終わるよう出演者とコミュニケーションを取りながら進めています。公演中も時間の管理をしており、モニターでお客様や出演者の様子を見守っています。時折、お手洗い休憩の並び具合によって休憩明けの時間を調整することもありますよ。

品田さんから面白いお話をたくさん聞くことができました。ありがとうございました！
続きは、ホールオルガニスト・インターンブログでぜひご覧ください。

次回のインタビューもお楽しみに。

ブログは
こちらから▸